

Create Hope in the World

『世界に希望を生み出そう』

2023-2024年度RIテーマ 会長 ゴードン R. マッキナリー

■ 点鐘 / 12:30 ■ 例会場 / 山形グランドホテル：サンリヴァ ■ 出席報告 / 46名 (会員数 87名)

会長メッセージ

山形産さくらんぼ🍎のワンダー・ワールド

山形で最もアピール度の高いアイテム、さくらんぼの季節となりました。私がリンバルに移って初めて知ったことが色々ありました。

1. 生産

リンバルは、県内の生産者と契約して年間50tものさくらんぼを取扱っています。先日大江町にある契約農家にお邪魔しました。指導農業士に認定されたトップファーマーです。

他の果樹に比べさくらんぼほどデリケートで難しい作物はないそうです。畑といっても、樹が整然と植えられている訳ではありません。受粉させるために佐藤錦と紅秀峰とか異なる品種が工夫して植えられ、一本の樹でも高さや風向き、陽のあたり方で実のなり方が全く違ってきます。

気温はもちろん、朝霧の出方等にも気をつけるそうですし、実のなる期間が非常に限られるので収穫や選果に多くの人手、しかも熟練者が必要となります。良いさくらんぼを作るため、自然に真摯に向き合う姿が印象的でした。

2. 評価

次は、収穫されたさくらんぼの品質を評価し良いものを選ぶステップです。県内で各種の品評会がありますが、市場で高値で売れることを重視し、詰め方や色など「見ばえ」を基準に評価しています。それに対しリンバルでは、社員が実際にプラインドで試食し「おいしいか」に重点を置いて評価しています。

おもしろいのは、担当はソムリエやマスターオブウイスキーの様に特別な訓練を受けている専門職ではなくて、山形で生まれ育った普通の社員だということです。色々やってみたら彼ら・彼女らの味覚が一番確かだという結果になったそうです。

先の例会で山響が山形の子供たちに「音楽のミルク」を与え続けている話をしました。味覚も同様で、大人になってからおカネを得てグルメを気取っても、幼少期においしいものを普通に食べてきた山形の人の味覚にはかなわないということではないかと思えます。ここにも山形産の価値があります。

3. 配送

届ける際の品質管理が難しいのもさくらんぼの特徴です。一番おいしいのは何と言っても朝摘みしたのですが、輸送中に水分が飛んでしまうので、大阪とかで「山形産」として出ているさくらんぼには残念ながらがっかりするものも多いと聞きます。

一昨年、スポンサークラブである東京ロータリーの例会に出席し、70周年のお礼として会場に佐藤錦を持ち込み、出してもらいました。例会に間に合わせるため、前日朝摘みした佐藤錦5kgを私が新幹線で運びました。200名ほどのロータリアンが大変喜んでくれました。帝国ホテルのマネージャーから「こんな肉厚なさくらんぼは見たことありません。」という一言をいただいたのも嬉しかったです。苦勞して運んだ甲斐がありました。

それだけならよかったのですが、前日新幹線で東京駅に着いた時に佐藤錦に気を取られ、スマートフォンを座席に置き忘れてしまいました。私が乗った「つばさ158号」は車内清掃しないでそのまま車庫に回送される列車でした(当時)。私のスマホを載せたままなんと那須塩原まで行ってしまい、帝国ホテルの感動の余韻に浸る間もなく、那須塩原までスマホを取りに行くはめになりました。往復で1万1千円かかりました。

本日の結論は、つばさ158号から降りる時は忘れ物に注意しましょう、ということではなくて、さくらんぼに限らず山形の食べものがおいしく、かつ価値があるのは、自然に対するリスペクトがあって、生産・評価・配送の過程で多くの人の手や力が加わっているからだという事です。



親睦活動委員会
長谷川 吉之介委員長



5月誕生日の高山さんと後藤さん
おめでとうございます!!



講師紹介
プログラム委員会
佐藤 利右衛門委員長

ニコニコ情報

● 高橋 修さん



「山形をもっと笑顔に」を目的とした県内企業初の地域通貨「ネット山形コイン」が本日スタート。先ほど、佐藤屋本店さまでオープニングセレモニーを開催させて頂きました。皆さん、どうぞよろしくお願致します。

四つのテスト 真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか

1950年8月5日 RI加盟承認 承認番号7587号(なごやか)

■ 例会/毎週水曜日12:30開会点鐘 第5週18:00開会点鐘 ■ 例会場/山形グランドホテル
■ 事務局/山形市十日町1-1-26-2F ■ TEL:023-632-7777 ■ FAX:023-624-5200
■ E-mail:yamagata09@rid2800.jp

ホームページはこちら

パスワードは事務局へ
お問合せ下さい。



ゲスト卓話 『若者の就職事情と外国人の活用』

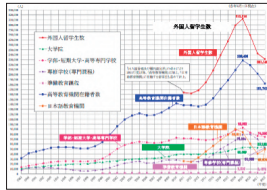
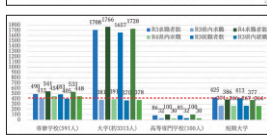
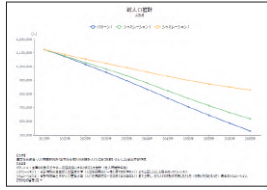
学校法人山本学園 理事長 **山本 絵里子 さん**



専門学校山形Vカレッジ校長
山形県産業教育振興協会理事
山形県私立学校協議会委員
山形市私立幼稚園園長
山形県専修学校協議会理事
山形県専修学校各種学校協議会理事
山形県専修学校教育研究会理事
山形市私立幼稚園協議会理事
山形県専修学校各種学校協議会会長
山形県私立総合連合会副会長

1. 人口減少と就職状況

地元定着しているのは専門学校です
総人口推移 RESAS
出生数 団塊世代(1949) 約4.4万人
1960年 約2.2万人
2010年 8,651人
2024年 5,431人
都道府県移動数が一定程度安定した
場合2065年には山形県の人口1/2
大学進学は約27%から約50%
山形県から県外進学 7割
学校種別求職と就職数令和3年度と令和4年度
残留山形県の学生数はワースト5位
しかし、実数は地元就職率 山形県は3位。ほぼ常時全国5位までには
実数でも大学より多く地元定着



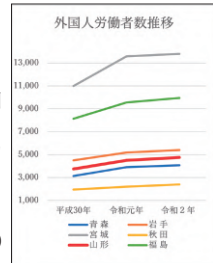
JASSO「外国人留学生在籍状況調査(2022)」

2. 留学生の現状

(1) 留学生30万人計画 (2008→2020) →40万人 (2023→2033)
(2) 今までの経緯
山形県2014年外国人最低数6,023人
2022年 留学生 260人
内 Vカレッジ10%
日本語教育機関 山形県0(全国唯一)であった
2020年 AI情報システム科 ICTクリエイイト科に留学生26名
2023年2月 日本語学科として日本語教育機関申請
2023年11月 法務局告示校認可
2024年4月 日本語学科 開設 ネパール34名
バングラディッシュ5名
本科 AI情報システム科 5名
ネパール バングラディッシュ、パキスタン、スリランカ
2024年10月 日本語学科 20名受け入れ予定

(3) 外国人雇用状況

①「外国人雇用状況」の届出状況まとめ (令和2年10月末現在)
外国人雇用事業所数・外国人労働者数 (東北抜粋別)
産業別外国人労働者数
製造業 約48万人 サービス業 約27万人
卸・小売 約21万人 飲食・宿泊 約20万人
②2024年卒 企業外国人留学生採用状況調査
2024年卒において外国人留学生の採用した割合は、42.6%
採用理由は「国籍を問わず優秀な人材確保のため」が最多で、年々増加傾向
③最終学歴別の就職許可人数の構成比 (令和4年)
専修学校を卒業した者が16,191人 (48.5%)と最も多く、次いで大学を卒業した者が9,770人 (29.2%)の順
④高等教育機関における日本国内での就職率は31.1% 山形Vカレッジ 100%
外国人留学生の進路概況
入社後1年未満の離職経験 3割定着
○留学生30万人計画を達成して2019年度留学生総数25%は専門学校に在籍
○ベトナムからネパールが主流、バングラディッシュ、パキスタン、スリランカ、ミャンマーが増加傾向
○日本国内就職を希望する専門学校の外国人留学生は7割以上大学学部・大学院段階の外国人留学生は約6割
○実際に就職した学生は4割程度



⑤外国人留学生が就職活動で求めているのは、在留資格の変更手続きの簡素化や情報の充実

(4) 留学生受け入れのための専門学校の条件整備

①ISCED (国際標準教育分類) 高度専門士の位置づけの見直し (2023)
高度専門士 (専門学校4年課程) が4年制大学と国際的に同等に

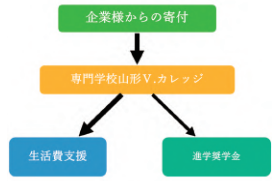
②文部科学大臣による認定「外国人留学生キャリア形成促進プログラム認定制度」の創設について
外国人留学生のキャリア形成促進を目的として「専修学校の専門課程における外国人留学生キャリア形成促進プログラムの認定に関する規程(令和5年文部科学省告示第53号)」が令和5年6月21日に公布、施行されました。

「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」とは、外国人留学生のキャリア形成促進を目的として、日本社会の理解の促進に資する教育を行うものを文部科学大臣が認定するものであり、令和5年6月から開始されました。
「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」は、「職業実践専門課程」の文部科学大臣認定を受けている専修学校専門課程の学科を対象として、在留管理制度を所管する出入国在留管理庁及び所轄庁である都道府県等との協議を行った上で、文部科学省において審査を行うものです。
認定校は技術、人文、国際のビザの適用範囲が柔軟になる。
→就職が幅広くできる

認定	学科名	課程数	山形県	専門学校山形Vカレッジ	工業関係専門課程 AI情報システム科	期間	二年
名称変更	1889課	414課程			工業関係専門課程 ICTデザイン科	期間	二年
取組、派1	-	-					

3. 留学生が山形で定着のために必要としていること

- ①生活の支援
アルバイト先の確保 週28時間 長期40時間/週
電化製品、家財道具、自転車等
日本文化の理解と交流
住まいの提供 Vカレッジだけの限界
- ②学費の支援
- ③就職の支援による安心感
本科生 2年後
日本語学科生 4年後



4. 山形Vカレッジが提供できること

企業説明会の実施 (留学生、日本人学生、高校生問わず)
パンフレット、チラシ、HP、アプリ開発等の作成 (本科生プロとのコンペで多数全国入賞採用)
英語、ネパール語、ベンガル語、ヒンディー語、韓国語、中国語、マレー語の翻訳
外国人採用のための情報提供 (EX.在留資格申請の理由書等書き方アドバイス)
日本語教師派遣やスポーツ授業 派遣料 (90分) 9,900円+交通費
日本伝統文化指導 作法、茶道、着付け、着物
リカレント教育 (日本人)
資格取得への指導 (日本人)

5. 今後の動き

- ①大学・自治体・経済団体等で申請 コンソーシアムを構築
- ②企業の奨学金返還支援 (代理返還) 制度 日本学生支援機構
採用を通じた人材確保と比べても、費用対効果が高い。一般に新卒・中途採用にかかるコストは就職サイトに求人情報を出す掲載料金や、就職エージェントなどに支払う報酬などを含めると、一人あたり100万~200万円ほどの費用がかかる。コストは離職の都度発生する。一方の代理返還は3~10年かけて総額60万~120万円程度を支払うのが相場だ。対象の社員は長く勤めることが代理返還の条件になるため、辞めづらくなる。採用活動の手間・コストがかかりにくくなるほか、人材定着につながる。

未来への価値 (Value)
だから、未来へ続く学びたいものがきっとある!

専門学校山形Vカレッジ Facebook → Yamagata V.College Facebook →

彼女彼女たち留学生の第2の母国となれますように

編集後記 学校法人山本学園の山本理事長をお迎えしご講演をいただきました。人口減少、少子化に伴う企業の取り組み方や地元企業への就職の状況など大変勉強になりました。また、外国人留学生が山形で定着するために必要としていることなども知ることができたため、これからの未来のために我々地域の企業としてもお力添えができたらと思った次第です。話が変わり、NETS山形コインの利用開始おめでとうございませう! 県内各地で飲食店、雑貨屋さんやスーパーなど、様々なお店で使用できるんぞすね!! (担当/近藤英雄)